

# 防災委員会 活動報告

公益社団法人日本技術士会鳥取県支部 防災委員会

委員長 西村 悟之

(株)荒谷建設コンサルタント

## 1.はじめに

令和元年度は、7回の「防災講演会(学習会)」と、倉吉市で開催されました「とっとり防災フェスタ2019」の活動報告をさせていただきます。

## 2.防災学習(鳥取県立鳥取西高等学校)

令和元年7月4日(木)に、鳥取県立鳥取西高等学校で防災講演会とクロスロードゲームを行いました。当日は1年2組の38名の生徒さんを6班に分け、技術士会鳥取県支部では14名がスタッフとして参加しました。生徒さんは、講演会、クロスロードゲームとも熱心に参加していました。特徴的だと思ったのが、クロスロードゲームで、「避難所での非常持ち出し袋を開けるか開けないか」の問題をよく出題しますが、回答に「みんなで出し合って分ける」という答えが出てきていないということに気が付きました。学生と大人との考え方の違い(分けるという考えまで至らない?)があるような気がします。



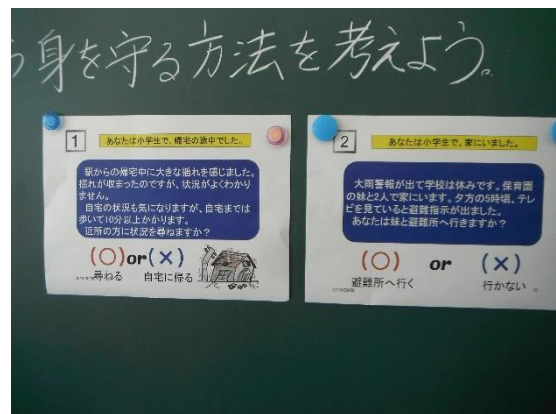
クロスロードゲームの様子

## 3.防災学習(米子市立福米小学校)

令和元年9月6日(金)には、米子市立米福小学校の5年生と6年生を対象に、クロスロード

ゲームを行いました。技術士会鳥取県支部では12名がスタッフとして参加しました。対象生徒さんは5年生と6年生の1組～3組の6班ずつ、合計36班に分かれました。班の数が多いため、各組で2名ずつの技術士会スタッフを配置し、担任の先生の前、クロスロードゲームを2問ないし3問出題しました。

小学生が対象でしたので、にぎやかな楽しい授業となりました。また、担任の先生の授業の進め方など、勉強させていただきました。



クロスロードゲームの問題

## 4.要約筆記問題研究会鳥取県支部防災学習会

翌日の9月7日(土)には、鳥取市さわやかセンターで防災学習会を行いました。研修者30名の中には、聴覚に障害を持つ方も含まれますが、一般の方と区別することなくいつも通りの学習会となりました。伊藤支部長の防災講演会に始まり、クロスロードゲームを行いました。参加者30名を6班に分け、技術士会スタッフ11名で対応しました。

クロスロードゲームの後には、引き続き災害食の紹介と試食・交流も行われ、私たち技術士会のスタッフも災害食の試食を行いました。



研修者と一緒に災害食の試食



クロスロードゲームの様子

### 5.東中豊かな子供を育てる会防災学習

令和元年11月3日(日)に、鳥取市岩倉公民館で、小中学生を主とした70名を対象に防災学習(クロスロードゲーム)を行いました。技術士会からは9名が参加しました。当日は防災学習の一つとしての技術士会の参加という形で、体育館にてクロスロードゲームを行いました。



体育館でのクロスロードゲーム

### 6.佐治町まちづくり協議会防災学習

鳥取市岩倉町での防災学習を終えた後、午後からは佐治町での防災学習を行いました。参加者30名を5班に分け、技術士会スタッフは8名で対応しました。

お昼時ということもあり、学習会前には地元の特産のうどんをご馳走になりました。参加者が高齢の方が多くということで、高齢者を対象とした問題としたり、よく分かる解説をつけたり、景品は和菓子としたりと、それなりに工夫をしました。

### 7.令和元年度度防災士養成研修

(倉吉市、米子市)

昨年に引き続いて、「防災士養成研修」の講座の一つとして、クロスロードゲームを行いました。今年は、11月16日(土)に倉吉市、翌週の11月23日(土)は米子市と2箇所に分けて開催されました。ただし、研修者数は倉吉市で108名の16班、米子市で94名の14班と、昨年同様に班の数は多くなりました。技術士会からは、班の数に満たない参加人数となりましたので、やむを得ず研修者の中からファシリテータを指名したり、技術士会スタッフ1名が複数班を受け持つ等で対応を行いました。

昨年は、島根県技術士会の方たちの応援もあったのですが、今年はそれがありませんので、各班の○×の回答数は私が聞き取りを行う形としました。結果的に、このやり方はグループ討議の始まりを早くすることができ、討議時間の確保につながることに気が付きました。



## 防災士養成研修会(米子市)

今年も多くの人数、多くの班を対象としましたが、昨年の経験もあり、また皆さんの協力のお陰で、時間内に終了することができました。

## 8.とっとり防災フェスタ 2019

(倉吉市大御堂廃寺跡公園)

昨年、大雨警報発令により中止となりました「とっとり防災フェスタ」ですが、今年は11月17日(日)に、倉吉市大御堂廃寺跡公園で開催されました。ここでの開催は、2014年(平成26年)に続いて2回目となります。

技術士会からは初年度から参加しており、例年どおり防災クイズ、科学実験、バンド演奏の3本立ての多彩な企画となりました。テントも二つ確保し、広さは十分でした。当日は、鳥取県技術士会の会員を中心とした21名のスタッフが参加して一般来場者の対応をしました。

防災クイズは200名の解答用紙を用意して臨みましたが、180名程度となりました。今後の開催地と問題用紙の数について参考となると思います。

科学実験も、例年好評の、「空気砲」、「橋梁荷重実験」を中心として行いました。ブースには鳥取県平井知事が来訪され、「橋梁荷重実験」にも参加していただきました。



平井知事に実験に参加していただきました

恒例のバンド演奏は、一昨年に引き続いてステージで披露しました。演奏時間と順番にも恵まれ、多くの観客の前で盛り上がりました。



恒例となりましたバンド演奏です

## 6.おわりに

今年は防災学習を7回行い、防災フェスタにも参加しました。

防災学習は、連日・連週となったり、ダブルヘッダーとなったりと、かなりあわただしい時期もありました。ただ、こうした状況でも、技術士会の皆さんの参加のお陰で、毎回滞ることなく、スムーズに対応できていると感じています。技術士会の防災学習(クロスロードゲーム)は評判が良く、認知されつつあるとの声も聞かれます。

防災フェスタにも毎年20名前後の参加者があり、慣れ親しんできたこともあって、以前のようなバタバタした感は少なくなりました。

こうした活動を継続することによって、地域住民のみならず会員の防災に対する取り組み意識の向上につながることに加え、技術士会の認知度を広めることにもなると思います。

これらの活動が、地域社会の貢献に少しでも  
寄与できれば幸いです。

